

講義コード	1009	科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	シャカイフクシガイロン1	(フリガナ)	ヨコヤマジュンイチ
授業科目名	社会福祉概論 I	担当教員名	横山 順一
英文授業科目名	Social welfare outline1		
基準年次(開講期)	1年次(前期)	履修形態	必修(大学指定必修科目/社会福祉士受験資格指定科目)
曜日/時限/講義室			
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	社会 環境 人間 生活		
授業概要・目的	社会福祉とは何なのか、私たちの生活にどう関わっているのかを学ぶ。そのために、社会福祉がいつどのような形で生まれ、発展して現在どのような形になっているのかを制度面だけではなく社会福祉理念、社会福祉を貫く原理と併せて理解を進めていく。		
到達度評価の 評価項目	(1)社会福祉の全体像を把握できる。 (2)社会福祉の発達過程を理解できる。 (3)過去、現在の社会福祉の概要を理解した上で、未来の社会福祉はどうあるべきか考える事ができる。		
授業計画			
第1回	初回講義オリエンテーション 講義の進め方、注意事項についての相互理解を進める。本学の教育方針における本科目の意義の理解について		
第2回	社会の変化と福祉 福祉国家の変容		
第3回	社会の変化と福祉 現代社会の変化と福祉		
第4回	福祉の思想と哲学 社会福祉を支える思想		
第5回	福祉の思想と哲学 社会福祉論の論点整理		
第6回	社会政策と福祉政策 社会政策の中の福祉政策		
第7回	社会政策と福祉政策 福祉政策の体系		
第8回	福祉政策の発達過程 近代から戦前までの福祉政策		
第9回	福祉政策の発達過程 戦後以降の福祉政策		
第10回	福祉政策における必要と資源 福祉におけるニード論		
第11回	福祉政策における必要と資源 福祉政策の資源		
第12回	福祉政策の理念、主体、手法 福祉政策の理念		
第13回	福祉政策の理念、主体、手法 福祉政策の主体		
第14回	福祉政策の理念、主体、手法 福祉政策の手法		
第15回	前期まとめ		
教科書・参考書等	教科書:社会福祉士養成講座編集委員会(2014)新社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉 第4版」、中央法規出版 参考書:松井圭三、今井慶宗編著(2015)現代社会福祉概説、かるがも出版		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	社会福祉に関する動向は新聞等で適宜報道されているので、チェックを怠らないでください。また、社会福祉の予習復習の学びを支えるものとして、中学、高校の「社会科」、「公民」等の知識が参考になりますので、高校までの学びを総動員してほしいと思います。		
履修上の注意・ 受講条件等	本学の必修科目となります。また、社会福祉士受験科目「現代社会と福祉」の指定科目でもありますので、社会福祉士を目指す学生は特に余すことなく学び、理解を深めてほしいと思います。		
成績評価の基準等	学期末試験とレポート課題(不定期)によって評価する。学期末試験:90%、レポート課題10%		
メッセージ	社会に生きる私たちは意識的にも無意識的にも福祉と関わっていきます。他人事ではなくいつか自分も関わることがあるものとして学習してほしいと思います。		
オフィス・アワー	後日オフィスアワーが提示されるので、その時間を積極的に活用してください。		
その他			